

7月の農薬

No. 4 - 1

平成21年7月1日

安全安心な農作物を生産していくために、農薬の使用方法を守るとともにこれまで以上に飛散防止に努めましょう。

水稲

葉いもち：夜温が高く曇天・降雨が続く場合は要注意。

早期発見につとめ、発生の初期に防除する。

穂いもち：出穂前後の防除が重要です。

斑点米カメムシ類：本年の発生は前年並の予想ですが県の予察情報に留意しご指導ください。

(倒伏軽減剤)

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な使用目的	使用方法、使用薬量
7月下旬	スマレクト粒剤	3kg	-	倒伏軽減	10a当り2~3kg。 出穂7~20日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ロミカ粒	3kg	-	倒伏軽減	10a当り2~3kg。 出穂10~25日前に湛水して均一に散布する。 重複散布や多量散布は絶対にしない。
	ビビフルフロアブル	100ml	-	倒伏軽減	10a当り薬量100ml・水量150ℓ、出穂10日~2日前均一に茎葉散布する。
	ビビフル粉剤DL	3kg	-	倒伏軽減	10a当り3~4kg。 出穂5~10日前に茎葉部均一にかかるように散布する。 降雨直後・降雨が予想される場合は散布を控える。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用薬量		
7月上旬	ディブテレックス乳剤	500ml	○	イネアオムシ (フタオビコヤガ) クサキリ ササキリ	被害初期(葉先がカスリ状になった時)2,000倍(5ml/10ℓ)90ℓ散布する。 クサキリ・ササキリは畦畔を含めて散布する。		
7月上旬 7月下旬	カスラサイド粉剤DL	3kg	-	葉いもち 6月中旬 7月下旬 穂いもち (第1回) 7月下旬 8月上旬	10a当り 粉剤3kg 液剤 乳剤 ゾル (フロアブル) 1,000倍(10ml/10ℓ) 120ℓ/10aを散布する。 (注) ヒノザン剤・フジワン剤は同一成分とみなし連用をさける(耐性菌出現防止)。 ノンプラスおよびブラシンは発病後も効果が大きく8月上旬頃まで使用できる。		
	ビーム粉剤DL		-				
	ラプサイド粉剤DL	3kg	-				
	ノンプラス粉剤DL		-				
	ブラシン粉剤DL		-				
	ブラシンプロアブル	500ml 500g 5ℓ	-				
	ノンプラスフロアブル		-				
	ラプサイドフロアブル		-				
	カスラサイドゾル		-				
	7月中旬	フジワン粒剤	3kg			-	穂いもち
7月中旬	コラトップ粒剤5	3kg	-	穂いもち	出穂5~30日前。10a当り3~4kg。		
7月下旬	モンカット粒剤	3kg	-	紋枯病	出穂20日前に10a当り4kg湛水して散布する。使用時期を遅れないようにする。		
	リンパー粒剤		-				
	モンガリット粒剤		-				
	モンカットファイン粉剤20DL	3kg	-		10a当り4kg散布する。		
	モンセレン粉剤DL		-				
	バリダシン粉剤DL		-				
	バシタックゾル		500ml			-	1,000倍(10ml/10ℓ)を10a当り180ℓ散布する。
	モンカットフロアブル		500ml			-	1,500倍(7ml/10ℓ)を10a当り180ℓ散布する。
7月下旬	バリダシン液剤5	500ml	-				
7月下旬	モンセレンフロアブル	500ml	-				

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	使用方法、使用薬量	
7月中旬	アミスターエイト	500ml	-	穂いもち	1,000~1,500倍で散布する。	
	モンカットラプサイドF粉DL	-	-		10a当り4kg散布する。	
7月下旬	ビームバシタック粉剤DL	3kg	-	紋枯病	出穂30日~10日前に10a当り3~4kg湛水して散布する。	
	フジワンモンカット粒剤		-			
7月下旬	ラプサイドベフラン粉剤DL	3kg	-	稲穂こいもち	穂ばらみ期~穂揃期	
	ディブテレックス乳剤	500ml	○	イネアオムシ	葉先がカスリ状になった被害初期に2,000倍液を10a当り120ℓ散布する。	
	バイジット粉剤2DL	3kg	-	ニカメイチュウ2世代 ウンカ類 カメムシ類	10a当り3~4kg散布する。	
	スミチオン粉剤3DL		-			
	7月下旬	バイジット乳剤	500ml	○	ニカメイチュウ2世代 ウンカ類 カメムシ類	1,000倍液を10a当り150ℓ散布する。
	スミチオン乳剤	-				
	7月下旬	ディブテレックス粉剤	3kg	-	アワヨトウ	
	7月下旬	ラプサイドスミチオン粉剤3DL	3kg	-	穂いもち ニカメイチュウ2世代 カメムシ類	10a当り3~4kg散布する。
7月下旬	バイパス粉剤DL	3kg	-	ウンカ・ツマグロヨコバイ・ニカメイチュウも同時防除できる。 斑点米類 カメムシ類	10a当り3~4kgを散布する。	
7月下旬	キラップ粒剤	3kg	-	斑点米カメムシ類 ウンカ類	10a当り3kgを散布する。 出穂期~10日前	

水稲除草剤

○成長したホタルイの残草にはバサグラン液剤をご指導ください。

(粒剤では、効果が劣る場合があります。)

○ノビエの残草もある場合は、クリンチャーバスME液剤をご指導ください。

時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象雑草	使用方法、使用薬量			
7月上旬	バサグラン粒剤	3kg	-	ミズガヤツリ ホタルイ ウレカ ヘラオモダカ クログワ 広葉雑草	前日落水して散布し、散布後3~4日間は入水しない。 バサグラン粒剤 3kg/10a バサグラン液剤は500~700mlを水70~100ℓ/10aに溶かし散布する。 高温時はバサグラン液剤で葉先に薬害が出やすいので注意する。			
	バサグラン液剤	500ml	-					
	7月上旬	クリンチャーEW	100ml			-	ノビエ(5.0葉期未満)	茎葉処理剤なので、浅水にし、散布する。100ml/10aの薬量を100ℓ/10aの水量に希釈する。
	7月上旬	クリンチャージャンボ	50g×20パック			-	ノビエ(3.0葉期未満)	30パック/10aでノビエ4葉期まで有効。(やや深水5cm以上) 田面の露出はさけ、落水、かけ流しはしない。
	7月上旬	クリンチャーバスME液剤	500ml			-		クリンチャーバスME液剤は、100ℓ/10aの水に1,000mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後3~4日間は入水しない。
	7月上旬	ワイドアタックSC	100ml			-	ノビエ(5.0葉期未満) 水田1年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ	100ℓ/10aの水に100mlの薬液を溶かし散布する。落水して散布し、散布後2~3日間は入水しない。
7月上旬	ヒエクリーンバサグラン粒剤	3kg	-		砂壤土の水田では使用しない。 ごく浅水で止め水をしてから散布し2~3日間は入水しない。その後入水して通常の湛水状態を保つ。			



もっと近くに。

全農山形県本部 生産資材部

お問い合わせ・ご注文の電話番号
023-634-8157

ご注文の際のFAX番号
023-634-8182

農薬はJAマークの製品を!

先入れ先出しの励行を!

